

# 平成25年度法人事業報告

## 社会福祉法人 札幌この実会

平成25年度は、西ブロックでは利用者の重度化や高齢化への対応策、事業の交流と統一化の課題に取り組み、南ブロックでは暮らしの場、日中活動支援のあり方、特に中ノ沢の新規事業計画の立案に取り組み、また人材の確保、定着、及び育成については両ブロックにおいても、法人全体としても取り組んだ。法人事務局会議を毎月定例の他、随時開催し、法人内の意思疎通・連携を図ることに努めた。すぐに解決できない課題が多く、次年度も引き続き取り組みを進める。

### 1. 事業所指定について

平成25年度、事業者指定について、次の内容の変更を行った。また、平成20年指定のこの実わーくネット及び第2この実会は指定の更新を行い、有効期限が6年延長された。

《4月》

この実わーくネット、3月末で就労移行支援(定員6名)を廃止し、就労継続支援B型(定員50名)に一本化

お達者倶楽部に「すこやか倶楽部」を開設し、2住居を3住居に、定員10名を15名に変更

《12月》

この実らいふネット、住居の減(ふれんどの廃止)により、11住居を10住居に、定員50名を48名に変更

### 2. 南区中ノ沢一丁目の土地取得について

今後の南ブロックの新規事業の拠点として、また地域との交流の中心的役割を担い、同ブロックの活性化の基盤となることを目指すものとして、下記の土地を取得した。

記

【 物件の概要 】

#### ■土地

【所在】	【地番】	【地目】	【地積】
札幌市南区中ノ沢一丁目	11番5	宅地	872.02m <sup>2</sup>
札幌市南区中ノ沢一丁目	11番6	宅地	97.00m <sup>2</sup>
(合計)			969.02m <sup>2</sup> (293.12坪)

### 【 取得費用 】

手付金 3,000,000 円 残代金 35,000,000 円 公租公課 117,799 円

仲介手数料 1,260,000 円 解体費用 1,497,877 円

**以上合計 40,875,676 円…土地の金額**

(諸費用) 466,775 円

印紙 7,500 円 登録免許税 352,100 円 所有権移転 70,425 円 建物滅失 36,750 円

### 【 取得経過 】

7 月 25 日 土地売買契約締結 手付金支払い

31 日 残代金決済 所有権移転

8 月 24 日 建物解体完了 (9 月建物滅失登記)

## 3. 盤溪の森・憩いの里山づくりについて

### (1) 太陽財団助成事業について

盤溪の森 憩いの里山づくりについて、太陽財団の助成を得て、伐採・抜根工事を行った。専門家を中心に地勢・植生及び生物の分布状態について調査を実施して全体設計の概要を策定することから、25年度の助成事業は生態系を損なわない間伐とし、遊歩道等の関連工事は次年度以降とする活動変更を財団に申請して承認を得た。

記

活動費総額 906,150 円

太陽財団助成金 500,000 円 自主財源 406,150 円

### (2) プロジェクト委員会による森林・山村多面的機能発揮活動計画について

里山づくりプロジェクト委員会の下記活動計画について、北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会の交付金が採択され、当該委員会により平成25年度から27年度にかけて取り組みが進められることになった。

記

#### 《 取組概要 》

当該森林は一部カラマツ、トドマツの人工林と広葉樹の針広混交林となっているが、ササが繁茂しており、下層植生が単調になっているため、里山づくりプロジェクト委員会は全体整備計画の作成と利用計画並びに地域住民への広報活動をすすめ、ササの除去・遊歩道の整備(作業委託を実施)をすすめる。整備後は施設利用者の体験用椎茸原木生産と地域内外の住民への炭焼き体験や霞の森生き物観察会を定期的に実施する。

## 4. 第2この実察外部他改修工事について

第2この実察は平成5年の開所から20年が経過し、老朽化が進んで改修工事が喫緊の問題となり、日本郵便に平成25年度年賀寄附金配分申請をしたが不採択となったことから、優先順位の高い外壁等の改修工事を全額自己資金で行った。残る屋根工事等は今後順次実施する。

記

(工事概要) ①外部塗装更新工事 ②防火設備・洗面設備改修工事  
③渡り廊下床改修工事 ④居室床段差改修工事

(工期) 平成25年6月10日～平成25年8月31日

(工事代金) 22,785,000円 (工事請負業者) ㈱石塚工務店

## 5. 北の沢デイセンター・マイクロバス整備について

2013年度日本財団「福祉車両」助成金により、北の沢デイセンターに下記のとおり送迎バスを整備することができた。

記

助成団体: 日本財団 事業名: 送迎バスの整備 助成金額: 3,660,000円

車両: 日産シビリアン 定員 29名

(実施経過)

平成25年06月26日 申請受付

11月13日 助成金交付決定

11月28日 助成契約書提出

平成26年03月12日 納車

03月13日 助成事業完了報告者提出

## 6. この実サポートステーション・車両整備について

この実サポートステーションで利用者の安全な移動と通院のために必要となる専用の車両について、北海道共同募金会に施設活動支援事業の助成申請を行い不採択となったが、先延ばしにできない状況から、自己資金により下記のとおり整備した。

記

車両: ホンダ フリード G(1500cc、5AT)・4WD・6名定員

平成25年6月13日 指名3社で入札を執行、㈱ホンダ四輪販売北海道が落札  
落札金額 1,966,980円で契約(注文)

8月23日 納車

## 7. 記念旅行について

平成24年度より実施している記念旅行は、25年度も小さなグループで、3泊4日の関東方面の道外旅行3グループの他、日帰りや道内旅行等を企画、実施した。

なお、10月に予定した第2この実寮の東北方面の旅行が台風の影響により26年度に延期となった。

## 8. この実支援センターAED設置について

この実支援センターは地域での普通の暮らしを求め、わーくネット(就労支援)とらいふネット(ケアホーム)の二つの事業を町中に点在させながら行なっているが、利用者の高齢化が進むなか、昨年度は利用者を心筋梗塞で亡くしAED導入を検討していたところ、大友福祉振興財団で助成対象としていることを知り、6月に申請をし、8月に下記のとおり助成金交付承認を得て9月に納品になった。

### 記

助成団体:大友福祉振興財団

(1)助成金交付金額:462,252 円

(2)自己負担金:92,450 円

(3)助成項目:日本光電 AED-2100 2台

(4)納品日:9月11日

## 9. 決算について

平成25年度の収支概要は次の通り。

(単位:円)

法人全体の収支(経理区分間・会計単位間繰入金処理、積立預金処理を除く)

	24年度決算	25年度決算	対前年度差額
収入計	819,409,948	812,892,166	▲ 6,517,782
支出計	791,101,679	842,118,768	51,017,089
収支差額	28,308,269	▲ 29,226,602	▲ 57,534,871
繰越率	3.5%	▲ 3.6%	▲ 7.1%